

特別会計予算の概要 予算額 4,125億円(前年度比 3.0%増)

◆土地区画整理会計

予算額1.0億円

- 篠路駅東口土地区画整理事業の移転補償費の減等により、前年度比85.9%の減となります。

◆駐車場会計

予算額1.2億円

- 駐車場借入金の返済終了に伴う公債償還費の皆減等により、前年度比74.1%の減となります。

◆母子父子寡婦福祉資金貸付会計

予算額0.8億円

- 国への公債償還費の増等により前年度比 6.8%の増となります。

◆国民健康保険会計

予算額1,785億円

- 療養給付費の減等により、前年度比 2.1%の減となります。
- 一般会計から、財政基盤の強化を目的とした法定の繰入金143億円など、総額193億円の繰入を受けます。
- 基金1億円を活用し、保険料の上昇を抑制します。

◆後期高齢者医療会計

予算額412億円

- 被保険者数の増に伴う北海道後期高齢者医療広域連合負担金の増等により、前年度比16.5%の増となります。
- 一般会計から、財政基盤の強化を目的とした法定の繰入金78億円など、総額97億円の繰入を受けます。

◆介護保険会計

予算額1,884億円

- 臨時の報酬改定やサービス利用者の増加等に伴う保険給付費の増等により、前年度比 5.5%の増となります。
- 一般会計から、保険給付に係る費用の市町村負担分など、総額294億円の繰入を受けます。
- 基金38億円を活用し、保険料の上昇を抑制します。

◆基金会計

予算額41億円

- 預金等利子の増等により前年度比33.3%の増となります。



病院事業会計

予算額 319億円
(前年度比 3.9%増)

安全で質の高い医療の提供

安全で質の高い医療を提供するため、高度医療機器の更新・整備や経年劣化に伴う施設の改修を計画的に行います。

 **市立札幌病院**
SAPPORO CITY GENERAL HOSPITAL



経営健全化に向けた取組

新入院患者の受入強化や経費の抑制など、効率的な病院経営に取り組み、市民のための最後のとりでとしての役割を果たします。

収益的収入	291億円
収益的支出	299億円
差 引	▲ 8億円
未処理欠損金	97億円



中央卸売市場事業会計

予算額 49億円
(前年度比 4.7%減)

安全で安心な生鮮食料品の供給

生鮮食料品の安定供給を維持できるよう、老朽化した場内の設備機器類の更新を行います。



【札幌市中央卸売市場】



経営基盤の強化

健全な財務体質の下で事業運営を担えるよう、計画的・効率的な事業執行により、引き続き、より一層のコスト削減に努めます。

収益的収入	23.5億円
収益的支出	24.0億円
差 引	▲ 0.4億円
未処理欠損金	50億円



軌道整備事業会計

予算額 40億円
(前年度比 2.8%増)

安全の確保

安全運行の確保のため、計画的な軌道施設の更新を進めます。

快適なお客さまサービスの提供

街路拡幅事業に合わせて、軌道改良工事などを進めます。

まちづくりへの貢献

電車事業所の改良を進めるとともに、低床車両の製造等を進めます。

【低床車両A1210形「ポラリスII」】



経営力の強化

厳しい経営環境を乗り切るため、運送事業者と連携し、必要な財源の確保に努めます。

収益的収入	18.5億円
収益的支出	17.5億円
差 引	1.0億円
未処理欠損金	11億円



高速電車事業会計

予算額 933億円

(前年度比 8.0%増)



安全の確保

老朽化した施設の改修のほか、防災対策として、南北線シェルター耐震改修工事などを進めます。

快適なお客さまサービスの提供

お客さまの利便性向上のため、一般旅客用トイレの洋式化などを行います。

まちづくりへの貢献

都心の再開発に合わせて、混雑緩和のため、南北線さっぽろ駅のホームを増設します。

経営力の強化

将来にわたって安全な輸送サービスを提供するため、乗車料収入だけでなく、附帯事業収入を含めた財源の確保や経費節減に取り組み、経営の効率化に努めます。

収益的収入	541億円
収益的支出	467億円
差 引	74億円
未処理欠損金	1,704億円



水道事業会計

予算額 728億円

(前年度比 3.4%減)

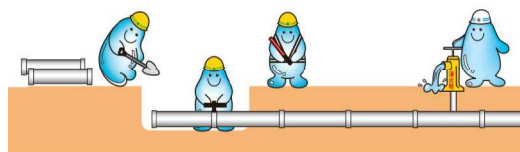


安全で安定した水道水の供給

安全で安定した水道水をお届けするため、白川浄水場などの施設の更新や配水管の整備を行います。

水道施設・水道管の災害対策

災害対策として、浄水場などの施設や配水本管、災害時重要施設へ向かう配水支管の耐震化などの事業を進めます。



健全経営の維持に向けた取組

健全経営の維持に向け、必要な財源の確保に努めながら、施設規模の見直しなどの経費節減に取り組みます。

収益的収入	483億円
収益的支出	405億円
差 引	78億円
未処理欠損金	なし



下水道事業会計

予算額 1,026億円

(前年度比 4.5%減)

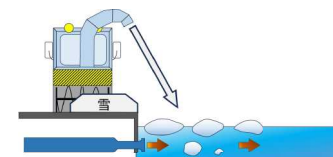


安全な暮らしを守るための取組

安全な暮らしを守るため、老朽化した下水道施設の改築、浸水対策及び地震対策などを着実に進めます。

脱炭素社会・循環型社会実現への取組

下水熱を利用した融雪槽の設置など下水道エネルギーの有効利用に取り組み、カーボンニュートラルを推進します。



東部水再生プラザ融雪槽
(R8年度中に供用開始予定)

経営基盤の強化に向けた取組

コスト縮減や財源確保のほか、業務効率化の取組をより一層強化するとともに、人材育成等の取組を推進します。

収益的収入	541億円
収益的支出	519億円
差 引	22億円
未処理欠損金	18億円